



シネコヤ+ワークショップ第一回

シネコヤ 第一回記念上映
「青春残酷物語」大島渚監督
ゲスト：小山明子様

+ワークショップ 第一回
テーマ「映像の構成とは？」
講師：文教大学 川合康央先生



小山 明子 (こやま あきこ) さん
主な出演作品
ママ横むいてて (1955年)・続兵隊やく
ざ (1965年)・少年 (1969年)・愛の亡霊
(1978年)・舞化粧 (1983年 舞台)・あ
かたれ (1983年 テレビ)・西太后
(1995年 舞台)

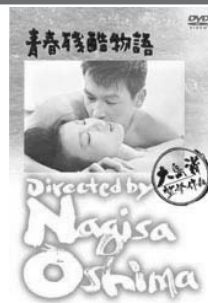
「青春残酷物語」ではゲストの
女優であり、大島渚監督の御
夫人でもある小山明子氏に「
挨拶いただきました。(次ページ)

文教大学の川合康央先生の
3Dアニメーションワークショップ
プと、大島渚監督「青春残酷
物語」上映。
ワークショップでは幅広い年齢
層の方々に参加していただき、
参加者全員がたったの1時間で
アニメーションを完成！参加者
は、こんなに簡単にアニメが作
れるの？！とびっくりした様子
でした。

4月26日シネコヤ+ワークシ
ョップ第一回 が藤沢産業セン
ター開催されました。

『戦場のメリークリスマス』
『御法度』など

大島渚 (おおしまなぎさ) 監督
『愛の亡霊』でカンヌ国際映画
祭監督賞を受賞
2001年6月フランス芸術
文化勲章(コマンドゥール)を受章
代表作



scmn

Shonan Video Festival Newspapers

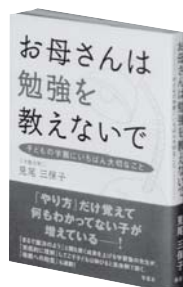
湘南映像祭新聞

Shonan Citizen Media Network

発行者
NPO法人

湘南市民メディアネットワーク
神奈川県藤沢市藤沢110-4
TEL/FAX 0466-62-2288
E-mail info@scmn.info

<http://scmn.info>



著者

『お母さんは勉強
を教えないで』

草思社

小中高 個人教授 補習・受験 数英国

一人一人にこだわって 学習のコーチを40年

一ひらめく頭に変える一

IQ EQ
知 と 心

才塾

ミオジユク

☎0466-26-3019

湘南メディアニュース

Ulead VideoStudio 12 新発売

映像・画像をならべて、タイトルとエンドマークを入れるだけできれいな映像が完成。
学年全体の映像学習やメディアリテラシー授業に使えます。

新機能

ペインティング・クリエイター
ビデオや写真に「手書き」で絵や文字を
描くことができる機能です。ペンタブ
レットにも対応しています。



手書きの絵や文字でデコレーション

パフォーマンスの向上

VideoStudio 12は、さらに処理速度が
上がり、効率的になりました。
ex.) Intel Core2Quad最適化/レンダ
リングスピードアップ! など

YouTubeアップロードをより簡単に!

VideoStudio上から直接ログインを行
います。これにより、アップロードに必
要な作業手順が短くなってあります。
また従来のWMVファイルに加え、MPEG4
ファイルのアップロードも可能になり
ました。



アカデミック・パッケージ版
希望小売価格 8,190円

コーレル株式会社 [Corel Japan, Ltd.]
<http://www.corel.jp>

COREL

(つぎ)

また当日サプライズゲストで撮影監督の川又昂氏が飛び入り参加していただきました。「青春残酷物語」撮影時の舞台裏話、やぐさに絡まれた話や、当時の大島監督夫婦のお話から今後の映画界を担う人々へのメッセージまで、他では見られない豪華なイベントとなりました。



川又 昂(かわまた たかし)氏
「黒い雨」でカンヌ国際映画祭で特別高等技術院賞を受賞。
「砂の器」日本映画技術賞受賞
93年の春に紫綬褒章、
98年に勲四等旭日小綬章を受ける

そして上映最後には小山明子氏からの突然のプレゼント(著書「パパはマイナス50点」介護うつを越えて 大島渚を支えた10年)集英社出版、サイン色紙など)で会場は大盛り上がり! 映像三昧な一日となりました。

シネコヤ +ワークショップ 第一弾 5月・6月企画

第二回 5月17日 土曜日 開場13:15

講師: 東海大学 五嶋正治先生

テーマ「あなたの作品は誰へのメッセージですか？」

番組に存在する「的と矢」の関係って何? 映像作品を見ながら楽しもう!

場所: 青少年会館3階 定員: 24名 (要申込)

第三回 6月22日 日曜日 開場13:15

講師: テレビ朝日「はい、テレビ朝日です」

小林和男プロデューサー

テーマ「テレビの映像表現」

テレビを10倍楽しく読み解く事ができる知識を習得!

場所: 青少年会館3階 定員: 24名 (要申込)

《お申し込み方法》

TEL/FAX 0466-62-2288

メール cinekoya@scmn.info

主催: NP0法人 湘南市民メディアネットワーク

情報と映像これからメディア情報(3)

川合 康央(かわい やすお)

今回の湘南映像祭新聞でも他の記事で触れられていると思うが、先日2008年4月26日、藤沢産業センターにて「第一回シネコヤ」が開催された。私はこのシネコヤに先立ち、同日午前中に「+ワークショップ」セッションのお手伝いをさせていただいた。これは「TVML Player mini」を用いた3DCGアニメーションによる映像制作である。

3DCGアニメーションという一見敷居が高そうであるが、この「TVML

Player mini」は、ワープロ感覚で映像作品が作成できるものである。今回のワークショップも2時間という時間ではあったが、このツールを用いたことで、アプリケーションオペレーティング自体には特に問題なく、具体的なコンテンツの内容の制作に専念できた。このアプリケーションは、映像や情報などにおける情報発信ツールの入り口として大変優れている。今後様々な場面で利用して行くとともに、その可能性をより広げるための研究を行ってきたい。TVMLは新しい映像言語としてNHK放送技術研究所が手がけているものであり、この「TVML

Player mini」は、キャラクターの「台詞」「動作」

「ウちゃん

ムービー塾体験レポート

2008年2月22日(金)、北九州の西日本工業大学にて、第78回ムービー塾が開催されましたのでレポートします。

今回集まってくれたのは、北九州総合デザインナー協会の関係者の皆様。大半がクリエイティブな仕事に携わっている方で、仕事を終えて夕方からお集まりいただきました。

さすがは日頃から「作る」ことに慣れている皆さん、ものすごい集中力で作品を作り上げていきます。

今回の上位入賞者、1位東由紀さん。

ストーリーの面白さだけでなく、王子が徐々にアップになっていく効果的なカメラワークで、見事1位を獲得です。

2位、「皆さんセリフが入った作品を作る」から、あえてセリフがない作品を作った。」という、種木敦さん。

上空からのカメラや、大勢のキャラクターを動かすなど、手の込んだ作品です。

3位、お一人目は堀田幹雄さん。

キャラクターの配置や動かし方など、さりげなくハイレベルなテクニックを使っています。

同じく3位、重松依子さん。街中で時々みかける夫婦像を見事に再現してくれました。

これらの作品は

http://www.movie-school.org/gallery/gallery_78.html

にて視聴することができ、ぜひ皆さんも視聴してみてください。

このムービー塾、今回でなんと78回目とのこと。アニメ制作を行ってみたい方はもちろんのこと、ご自身のWeb/ Blogに動画を載せてみたい方や、小・中・高等学校で子供達の創造力を育成したい先生方などには強くおススメします。

10名以上の参加者が集まれば日本全国どこでも開催可能とのこと。ご関心がある方は、下記メールアドレスまでご連絡ください。

E-mail: info@movie-school.org



文教大学情報学部
情報システム学科デジタル
コンテンツコース 准教授
川合康央
(かわい やすお)



青木先生の映像技術講座

青木輝勝（あおき てるまさ）

第2回 「画像と情報量」

私事で恐縮だが、2月に我が家に赤ちゃんが生まれた。無知をさらすようで恥ずかしいのだが、私は赤ちゃんというものは2歳くらいまでまったくしゃべらないものなのかと思っていた。だが、1ヶ月を越えたあたりから、明らかに泣き声とは異なる声で「あー」とか「うー」とか言うようになった。「もしかしてうちの子は天才なのでは!？」と思いい（親バカだねえ）、医学書を紐解くとどうやら他の赤ちゃんも同じらしい。おおよそ2、3ヶ月でしゃべりはじめるのが一般的のようだ。こんな小さな体でもコミュニケーションをとろうとする姿がなんともいじらしいが、それはさておき（赤ちゃん描写をしているとそれだけで本欄がすべて埋まってしまう）、自己表現やコミュニケーションというのとはどうやら人間にとって本能中の本能らしい。そのことをあらためて感じさせられた。

ちなみに赤ちゃんの誕生日は2月16日。「誰か有名な人と同じ誕生日の人はいないか?」とミラーにもネット検索すると……きつ、金正日……。うむむ……。まあある意味大物感は十分ですな。あとは心の正しい人間に育てるこ

とだけに注力することしよう。さて、余談はこれくらいにして本題の技術講座に入りましょう。前回の宿題わかりましたか? 「画像をデジタル化する利点はたくさんあるが、逆に欠点は?」というものでした。答えは「とんでもなく大きな情報量になりコンピュータで扱うのが困難であるです。みなさんも文字だけの電子メールを送るときと写真付きの電子メールを送るときには送信時間が全然違うことはよくご存知でしょう。なぜ文字は瞬時に送れるのに、写真が1枚入っただけで送信時間が長くなってしまうのでしょうか?

図1

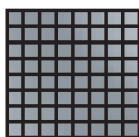


図1をご覧ください。マスキットがつづがディスプレイ上の画素（ピクセルとも言います）に相当し、これが画像情報の基本単位となっています。1つの画素には一般に1677万7216色のうちのどれか1色だけが指定できる決まりになっています。ひとつの画素には1色しか指定できなくても、この画素が縦横320×240とか640×480とかそのくらいの数集まると人間の目には画像として見えるということ。難しい話は避けますが、この約1600万色のうちのどれか1色を指定するためにコンピュータでは24ビット（0か1のいずれかが24個並んだ数字列）で表現する決まりになっているので、例えば640×480画素の画像の場合には、640×480×24≒約730万ビットで画像情報を完全に表現できることになります。約730万個の0か1が並んだ数字列ですので考えてみるとすごい量ですよ。さらに、動画の場合には1秒あたり30枚の静止画で構成されていますので、2時間（7200秒）の映画だとするとこの7200倍つまり、約526億個の0か1を並べてようやく表現できるということになります。それにしても526億個の想像つかない数字ですが、どのくらい大きいかわかりますか? 米粒を東京ドームに敷き詰めたとして東京

ドーム5個分に相当する量です。これはすごい。ところが一方、文字の場合にはどうかというと、例えば「A」という文字はわずか8ビットで表現できます。なぜかというところをご覧ください。

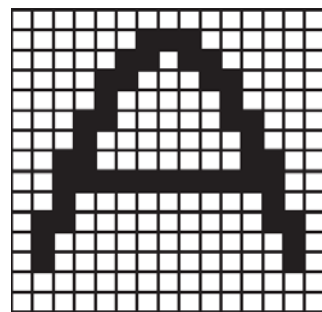


図2

画像の場合には、画素ひとつづつについてそれぞれ24ビットで表現すると申しましたが、文字の場合には、画素ひとつづつについて細かい情報がなくとも、「A」という文字だ」ということとさえわかれば、どの画素が黒になるのかということがコンピュータには（もちろん人間にも）自動的にわかるからです。ですので、「ここに表示するのは『A』という文字ですよ」という8ビットの情報さえコンピュータに教えてあげれば、複数の画素（図2の例では16×16画素）すべ

てについてどの画素が黒でどの画素が白かをコンピュータが自動的に判断してディスプレイに文字を表示することができるようです。

なお、なぜ「A」という文字が8ビットで表現されるかというと、文字の種類、具体的には大文字アルファベット（A, B, C, ..., Z）、小文字アルファベット（a, b, c, ..., z）、数字（0, 1, 2, ..., 9）、記号（<, >, =, @, など）をすべてあわせても8ビット（256個）あればすべての文字を区別できるからです（ただし、日本語（ひらがな、カタカナ、漢字など）をすべて表現しようとすると8ビットでは不十分で通常16ビット（6万5536個）必要となります）。

ちなみに原稿用紙1枚にアルファベットを並べてもたかだか8×4000≒32000ビットにしかありません。画像（静止画）1枚の730万ビットと比べるといかに少ないかがお分かり頂けるかと思えます。

このような技術的背景から、コンピュータというものは画像を扱うことが長らく苦手でした。「画像情報は写真1枚でもあまりにも膨大だ。この情報を少しでも小さくできないか。そうでないとコンピュータで画像が快適に扱えないではないか。」

こう考えて生まれた技術が「画像符号化技術」です。どうすれば画像を少ない情報で表

現できるでしょうか? みなさんも考えてみてください。実は重大なヒントが上述の文字表現に隠されています。画像の場合にも、画素ひとつづつを個別に扱わず文字のように複数の画素をまとめて扱うことができれば、もつとわかりやすく言うところ、「あの画素があの色ならばこの画素はこの色に違いない」といった予測をコンピュータが行えるようになれば、文字と同様に情報量を圧倒的に少なくすることができるようになります。この「画像符号化技術」については次号でご紹介することにしましょう。



青木輝勝
（あおき てるまさ）

東北大学 電気通信研究所／
情報科学研究科 准教授。
文部科学大臣表彰若手科学者賞

『道』

財団法人川喜多記念映画文化財団

佐藤 京子 (さとう きよつこ)

映画は好きですか？

どんな映画が好きですか？

映画の歴史は一般にフランス人のオーギュストとルイのリュミール兄弟が、1895年12月28日パリのグラン・カフェで映像の有料公開したのが始まりと言われています。(エジソンの発明をあげるなど他の説もあります) いずれにせよ110年位の歴史でしょうか。その間にどれくらいの映画が世界中で作られたかは、きっと誰にも答えられないことでしょう。



「リュミエール兄弟」

その数えられない映画の中から、私が観ることができたのはほんの僅か、で、好きな映画はなんだろうと考えると、この紙面に書ききれないほどあります。

今回は好きな映画から、特に「道」に係わる映画を書きだしてみます。湘南映像祭とともに開催する第2回鎌倉映像フェスティバルのテーマは「道」です。「道」というのは本当によく映画のテーマになっているんですよ。皆さんがご覧になったことのない映画が多いかも知れませんが、すべて名作ですからレンタル・ビデオなどで探してみてください。

「道」の映画と云えば、イタリア映画の巨匠F・フェリーニの1954年製作の「道」。旅から旅の大道芸人ザンパノとジェルソミーナが歩く道、道を外れただけのちよとした広場で行われる力を自慢するだけの芸、道端で食べるパン、雪の残る道を行く三輪トラックのわびしさ。どのシーンにもドラマがあり、人の生き死にあり、ジェルソミーナのテーマ曲とともに忘れられません。

もつとさかのぼって、アメリカ映画の巨匠D・W・グリフィスの1920年製作の名作「東への道」はどうでしょう。あまりに古すぎますか。これはサイレント映画です。セリフも音楽もなく、途中途中で説明の字幕が入ります。最初に公開された時は、弁士が音楽と共に登場



「東への道」



「友だちのうちはどこ？」

めた顔の可愛らしかったこと。他にもたくさん「道」のつくタイトルはありますが、「路」の字ではどうでしょう。そのもののトルコ映画の巨匠Y・ギュネイの「路」があります。政治、歴史、トルコ社会の現状を提示してくれましたが、それ以上に極限状態を行く男たちの渇きが重く心に残りました。「路」のつくタイトルは「旅路」「路傍の石」「家路」「路上」「十字路」など、数えられないほどあります。

タイトルに「みち」がなくても、ロードムービーと言われる「アイ・ジー・ライダー」や「モーター・サイクル・ダイアリー」などもあります。映画の中で道が主題だったり共演者だったりしています。

最後に私の特に好きなイランのA・キアロスタミ監督の「友だちのうちはどこ？」を紹介します。

少年が間違えたノートを届けるため、友だちの家を探して道を必死で走る姿は、ただ走っているだけなのに、少年とともに走っているような気持ちになり、ドキドキ緊張していました。

道はテーマとしては普遍で、人生になぞらえたりします。そう、人生に道はつきもの。あなたの道は、どこですか。

第2回鎌倉映像フェスティバル開催

テーマ『道』

作品募集いたします

(10分以内)

募集期間

2008年7月1日

5月5日

審査・講評

大林宣彦監督

入賞作品上映・授賞式

2008年10月24日

鎌倉生涯学習センタ

ーホール

主催

財団法人川喜多記念

映画文化財団

<http://www.kawakita>

film.or.jp/

第4回湘南映像祭 2008年9月21日開催

主催：NP0法人湘南市民メディアネットワーク

●この事業は、かながわボランティア活動推進基金21ボランティア活動補助金の助成を受けております。

作品募集中

インターネット(WE B)ライブ放送
『こんにちは映像ですが』

<http://scmn.info>

NP0広報のための映像制作講座

6月4日 10:00～16:30 (途中休憩あり)
場所 神奈川県民センター11階
神奈川県コミュニティカレッジ講義室
8組(1組3人まで)
1,000円/1組
TEL/FAX 0466-62-2288
E-mail info@scmn.info
NP0法人湘南市民メディアネットワーク
神奈川県



YUUFUKU